

サイドブレーキ 不十分だった

停車中は
サイドブレーキの確認と、「輪止め」の設置

坂道、無人のダンプがバック ドアと電柱の間に挟まれ、女性死亡

ダンプが動き出したため

ドアを開けて運転席に乗り込もうとしたが...

間に合わず、挟まれた

ギアはニュートラルだった、サイドブレーキが不十分だったか

2022/4/13(水) 17:31

13日昼12時10分ごろ、兵庫県の市道で路肩に停車していた無人のダンプが後ろ向きに動き出し、近くにいた運転者とみられる女性が、開いたドアと電柱の間に体を挟まれ、死亡した。

女性は40～50代とみられ、警察が身元を調べている。

現場は約10%の勾配がある道路。

ダンプは家屋の解体作業で出る廃材を積み込んでいた。

女性はダンプが動き出したため、ドアを開けて運転席に乗り込もうとしたが間に合わず、挟まれたとみられる。

通りかかった宅配業者の男性が目撃し、すぐ駆け寄ったが、すでに意識不明だったという。

ギアはニュートラルに入っていた。

同署は、サイドブレーキが十分にかかっていなかった可能性もあるとみて調べている。